



第  
92  
号

発行日：2024年11月1日  
 発行：特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム  
 (大津市地球温暖化防止活動推進センター)  
 住所：〒520-0047大津市浜大津四丁目1番1号明日都浜大津4階  
 電話：077(526)7545  
 フォーラムHP：https://eco-otsu.net  
 Eメール(事務所)：forum@eco-otsu.net



<事務局長から> 晩秋の候 大津市地球温暖化防止活動推進センター4期目の指定申請に向けた方針を、理事懇談会を3回開催して議論してきました。大津市がゼロカーボンシティを宣言している今、普及啓発が中心だったCO<sub>2</sub>排出削減事業は、より実効性のある事業への強化が求められています。これに応えていくため、力強いご支援ご協力をお願いいたします。向寒の折ご自愛くださいますように。 会員数111名 (2024年10月末現在)

トピックス

○ 地球温暖化防止セミナー「温暖化Now！」を開催しました

9月7日、ふれあいプラザに立命館大学食マネジメント学部教授の天野耕二氏をお迎えし、地球温暖化防止セミナー「地球温暖化NOW！～食品ロスと環境問題を考える～」を開催し、会場では30人が聴講しました。また、講演の様子はオンラインでも同時配信しました。



講演前半は、地球温暖化と私たちの「食」との関係です。温室効果ガスが増えると、気温が上昇し、水資源のバランスが崩れ、穀物生産や家畜飼育に影響します。農産物の収量減少や品質低下が懸念される一方で、「食」が地球温暖化のひとつの原因ともなっています。水田や飼育牛からのメタンガス排出、食材輸送・調理などに伴うCO<sub>2</sub>排出など、世界全体の温室効果ガス排出量の1/3が「食」に伴うもので占めています。これに対してどうすべきかというお話は、休憩をはさんで後半にありました。「食」について、どこ(地産地消)の、どんな食材(牛肉か鶏か植物かなど)を、いつ(旬産旬消)、どのように(同じ食材でも調理法、中食や外食で大きく異なる)して食べるのか考える必要があります。また、日本では食料の1/3がまだ食べられるのに廃棄されている現状も改善すべきです。

【参考】当日の講演内容を講演者ご自身により抜粋・解説された記事を12月発行予定の「センター通信34号」に掲載します。

○ おおつ市民環境塾講座5「宇宙から見た近江の森の変遷」を開催しました

9月21日、ふれあいプラザにて、おおつ市民環境塾講座5「宇宙から見た近江の森の変遷」を開催し、27人が参加されました。講師は環境科学博士の中川宏治氏です。



森の太古からの変遷を知ることは、気候や人の活動の変遷を知る手掛かりとなります。滋賀県の森の変遷は、琵琶湖湖底の堆積物に含まれる花粉を調べることで数百万年前からの気候変動がわかります。また、鎌倉時代以降は絵図から、明治以降は写真から、戦後は航空写真から、1970年代以降は人工衛星の観測データから林相がわかり、人と森の関わりがわかるようになります。多種のセンサを搭載した人工衛星の観測データが無償公開されていて、これを、同じく無償のGoogle Earth Engineで解析することで広範囲の植生がわかるようになります。近畿地方では、気候の状況から人の手(伐採等)が入らない森は、徐々に常緑広葉樹林化するとみられています。滋賀県でも標高の高い所はブナなどが優勢ですが、4~500m以下ではシイ類などの常緑広葉樹林となります。現に春日山公園、長安寺、石山寺の森は常緑広葉樹林化してきています。林相が単純化すると生物多様性が失われていくとのことで、人の手が適度に入る里山の維持が重要だとのことでした。

○ おおつ市民環境塾講座6「春日山公園の森林の観察」を開催しました

9月28日、春日山公園にておおつ市民環境塾講座6「春日山公園の森林の観察」を開催し、13人が参加されました。

この講座は、前述の講座5「宇宙から見た近江の森の変遷」の内容を実際の里山で観察する講座で、案内と解説は、同じく中川宏治氏です。曇りながら適温の散策日和。



駐車場にて挨拶と概要説明の後、シンボルゾーンから里山の森に入り見晴台を経てビオトープエリアへ出ました。歩きながら森の樹々がどのように遷移していくのかのお話を、過去・現在の航空写真と現実の森を見比べながら伺いました。また、森の観察の後、里山保全プロジェクトの活動場所の紹介もありました。植生の違いから森林の若さを知るという新たな視点を知り、理解を深めることができました。昭和後期まで農地などとして人の手が入っていた春日山公園には、比較的若い樹々の森から常緑広葉樹の多い場所まであり、森の変遷を知るのに適した場所でした。参加者から多くの質問があり、講師は丁寧に答えておられました。違う季節にまた歩いてみたいとの意見もあり、それぞれの季節にこの森がどんな顔を見せてくれるのか、それも楽しみです。

## ○ リサイクルフェア・健康フェスティバルに出展しました

9月29日、ランチ大津京で開催された「リサイクルフェア2024」に出展し、当センター発行の小冊子「家庭の省エネ簡易診断」を使って省エネ簡易診断を実施しました。また、10月6日には明日都浜大津で開催された「2024おおつ健康フェスティバル」にも出展し、同様の省エネ簡易診断を実施しました。



診断受診者には、簡易診断小冊子と解説パンフに加え、お礼として窓用断熱シートか簡易温湿度計、またはソーラーガーデンライトを、それぞれ窓貼り時の断熱効果データあるいは暑さ指数簡易早見表、太陽光発電の仕組みと電池廃棄方法説明を添えてお渡ししました。リサイクルフェアでは46件、健康フェスティバルでは64件と予想を大幅に超える方々が受診され、用意したお礼の品が無くなってしまったほどでした。

## プロジェクト等からの活動報告・お知らせ

### 《生ごみリサイクルプロジェクト》

10月25日、市民活動センターにて5人でEMボカシを9個作りました。

### 《エネルギープロジェクト》

脱炭素啓発パンフ「CO<sub>2</sub>排出ゼロへの挑戦」の次号

のテーマを蓄電池と決め、プロジェクト定例会のほか作成チームによる検討会を8月20日、9月17日、10月22日に開催し、ようやく概要がまとまり、具体的な誌面作りに入りました。今後、専門家からお話を聴くなどして12月には編集を完了する予定です。

## ■これからのフォーラム活動（本文に記載の計画は省略）

プロジェクト等の名称	日時	場所・内容
<b>プロジェクト</b>		
生ごみリサイクル	12月 20日(金) 9:00	市民活動センター//EMボカシづくり
ビオトープづくり	11月 16日(土) 9:00	春日山公園//「里山の日2」準備
	12月 8日(日) 9:00	北大路どろんことーぶ//補修整備
里山保全	11月 8日(金) 9:00	春日山公園//例会
	11月 18日(月) 9:00	春日山公園//例会
	12月 7日(土) 9:00	春日山公園//例会
	12月 16日(月) 9:00	春日山公園//例会
エネルギー	11月 5日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
	11月 26日(火) 13:30	(株)GSユアサ関西支社//蓄電池勉強会
	12月 3日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
	12月 10日(火) 9:00	平野コミュニティセンター//エコ料理教室試行
	1月 7日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
<b>委員会・実行チーム</b>		
おおつ市民環境塾実行チーム	11月 9日(土) 14:00	ふれあいプラザ//講座7「持続可能な公共交通を考える」
	12月 14日(土) 9:00	平野コミュニティセンター//講座8「エコ料理教室」
自然家族事業実行チーム	11月 23日(祝) 10:00	春日山公園//「里山の日2」予備日11/24
全国ネット補助金事業実行チーム	11月 5日(火) 13:15	大津市センター//補助金事業定例会議
	12月 3日(火) 13:15	大津市センター//補助金事業定例会議

\* 大津市センター；大津市地球温暖化防止活動推進センター（明日都浜大津4F）